

泉川校区まちづくり集会 開催結果報告書

開催日時	平成 21 年 8 月 6 日(木) 19 時～21 時		
場 所	泉川公民館		
参加者数	男 90人	女 20人	合計 110人



○これからの10年のまちづくりに向けての提言

- ① 泉川校区は、「自分たちで出来ることは自分たちでやろう 自分たちで出来ないことは行政にお願いしよう」をモットーに、まちづくりに取り組んでいます。行政に任せるだけでなく、自分たちの地域のことを自分たちの手でより良くしていくことで、自分たちの地域のことを好きになり、地域の連帯感も生まれると思います。
- ② 各家庭のゴミ排出量の減量化を推進するために、まず、モデル地区を選定し、生ごみの減量化や資源リサイクルについての意識啓発を行い、自宅の庭にコンポストを設置してもらるか、家庭生ごみを大型生ごみ処理機などを設置した指定の回収場所に出して、それを利用して土や堆肥を作り、公共機関等に無料配布し利用してもらい、その成果を市政だより等で広く市民にPRする事業を提案します。
- ③ 地域の人たちと一緒に、国道バイパス花壇に花を植える作業をして、地域の人たちが泉川校区のために一生懸命にやってくれていることを知り、花があふれ、ごみのない美しいまち、「おはよう」「こんにちは」の元気なあいさつが交わされるまち、そして、魅力ある誇りを持てるまちになるよう、自分たちも地域のまちづくりに積極的に参加したいと思います。

1. 新居浜市連合自治会設定共通課題

課題名（美しい泉川にするために、私達に出来ること）

討議内容

1 2～1 3人ずつの8グループに分かれ、ごみを減らすために自分たちでできること、行政に依頼することに整理しながら、グループ討論を行った。

1 班

外観の美しさ、心の美しさが重要、そのためには、公共の場所の草取り、ごみひらい、花を植える事が重要、これからは後継者の育成にも力を注ぐ必要がある。昨年東田に太鼓台が出来た事により多くの若者が自治会活動に関心を示してくれている。良い傾向になっている。

2 班

ごみだしのマナーが悪いと言うのではなく、誰からでも出来る人が片づけ、掃除をする。出来ていない方は少数ですが、啓発活動も重要です。

3 班

毎月第2日曜日の[大好き泉川の日]の参加者は子ども達にも呼び掛け、泉川の子どもは、泉川皆で育てる。良い事をしている方には善行表彰をだして下さい。

4 班

ごみの問題で多く話し合いました。一人ひとりがごみ減量に心がけることが重要。自治会未加入者にも働きかける。犬のフンの処理は飼い主の責任で行う。

5 班

皆が参加できるまちづくりが必要、まちづくりは人づくりでもある。楽しく参加出来る環境に変えていくことが重要です。泉川を好きになってくれる人を増やす事が重要。まちがきれいになれば人が寄ってきます。子どもをどのように育てるか大人が模範になる事が重要です。

6 班

自治会活動を特定の人から全員が参加出来る活動にしていくことが望ましい。子どもの教育では、子どもが大人を見ている、大人は大きな声で挨拶する。近隣の人との挨拶は特に重要、防災とか、大きな問題が発生した時は大きな効果をだします。日頃の隣近所の付き合いが重要です、子どもが後ろから見えていますよ。

7班

11号バイパスの歩道に犬のフンが目立つ、啓発活動が必要。ゴミステーションに分別の出来ていないゴミを出している。西条市では、ゴミ袋に名前を書いて出しているが良い事はまねをしても良いのではないのでしょうか。資源ゴミの回収（古布）をしているがまだ浸透していない。今回のテーマは、「美しい泉川にするために、私達に出来ること」大きなテーマでしたが、時間が少なくもっとテーマを絞って下さい。

8班

地域の子供達とのふれあいの場づくりに務める。ゴミ減量は、各家庭でゴミを減らす努力をする。

水路等へのごみ不法投棄は自治会が取り組み、バクテリアを使って水の浄化をしてはどうですか。花いっぱい運動の輪をもっと増やす。花は、水持ちの良い花の種類を考える。

その他

最後に佐々木市長から、今年は長期総合計画に対する意見を頂くことが大きなテーマでした。今日は5人の中学生から提言頂きましたが、地域の方に支えられている、生まれてよかったと思える地域、挨拶が出来る地域等これからのまちづくりのキーワードでした。大変貴重な意見有難うございました。2人の大人の提言も、地域、市民との協働でやっていこうと提言ですがありがたいです。

家庭ゴミの減量は、モデル地区の選定を行い実現したい。